

令和3年 1月23日(土)

校内一斉道徳授業の日

本日は、全学級で道徳の授業をしました。各担任の先生が願いを込めて実施した道徳授業を保護者・地域の皆様に公開できなかったことは残念ですが、先生方の思いと授業風景を公開いたしますので、ご覧ください。

1年 道徳の授業

教材名	「くろくわ おしょう」
教材のあらすじ	清瀬市野塩の円福寺の和尚さんが、この土地のどこかに宝があるという言い伝えを聞き、必死に鍬で掘り返したところ、何も見つからなかったが、荒地を掘り返す和尚さんの様子を見た村人たちが自分たちも土地を耕し、たくさんの作物がとれて村が豊かになったことから、和尚さんが言い伝えの本当の意味を知るという話。
教師の願いや思い	村人の生活を豊かにできると必死に土地を掘り返した和尚さんの気持ちから、一生懸命働くことの大切さに気付かせたい。 自分たちの係や当番活動の様子を振り返り、学級や家庭で、皆のために仕事をもっとしたいと思えるような意欲を引き出したい。



2年 道徳の授業

教材名	ぼくは「のび太」でした
教材のあらすじ	「ドラえもん」の作者、藤子・F・不二雄さんは、子供の頃から漫画を読む人を喜ばせたい、楽しませたいと考えて、粘り強く漫画を描き続けてきた。 並外れて不器用な藤子・F・不二雄さんが漫画を描き続けることはとても大変なことだった。
教師の願いや思い	漫画を読む人のために粘り強く頑張ってきた主人公の努力を感じ、自分自身が努力しようとする態度につなげたい。 困難に出会っても、簡単に諦めずに自分のやるべきことを最後までやり抜くことの大切さを感じさせたい。



3年 道徳の授業

教材名	たまちゃん大すき
教材のあらすじ	まることたまちゃんは、タイムカプセルを作りお互いに手紙を書き、一緒に埋める約束をした。しかし、たまちゃんは家の都合で約束を守ることができず、まるこは怒ってタイムカプセルを捨てしまう。その後、2人はけんかをするが、お互いの意見や立場を理解し合い、仲直りする。
教師の願いや思い	まることたまちゃんが自分の立場だけでなく、相手の立場を考えることで分かり合えた心情を考える学習を通して、お互いを理解し合うことで、自分とは異なる意見を大切にしようとする態度を育てたい。



4年 道徳の授業

教材名	「世界の小学生」
教材のあらすじ	いろいろな国の小学生が、自分の学校生活について話している文章を読み、自国の文化と他国の人々や文化について考える。
教師の願いや思い	他国の人々や他国の文化に気付き、郷土や自国の文化と他国の文化との共通点や相違点などに目を向け、自国と他国、共に大切にすることができる人物になってほしいと考えている。



5年 道徳の授業

教材名	「感動したこと、それがぼくの作品～パブロ・ピカソ」
教材のあらすじ	この教材は、画家パブロ・ピカソの伝記である。幼い頃から絵を描くことが大好きだったピカソ。努力と才能が認められ、宮廷画家を薦められたが、ピカソは「人に描かされる絵はもう嫌だ!」「感動したこと、それが作品なんだ。」と、人のためではなく、自分のために絵を描いていく。
教師の願いや思い	自分が気付いた長所に目を向けたり、さらに積極的に長所を伸ばしたりする態度を育てたい。また、自分の短所も自分の特徴の一側面であることに気づき、それを課題として改善する努力をし、最高学年に向けて、自分自身を伸ばしていこうとする意欲を高めたい。



6年 道徳の授業

教材名	「夢」
教材のあらすじ	小さいころからプロ野球選手になることを夢見て、努力を重ねてきた「ぼく」の夢はかなわずに終わる。しかし、「ぼく」の心は実にすがすがしく、さわやかであり、新たな目標に向けて進んでいく。
教師の願いや思い	これから中学校へ進学するにあたって、苦しくてもくじけずに努力して物事をやり抜き、目標達成に向けて希望と勇気をもって成長してほしい。また、失敗や挫折に負けず、前向きに人生を歩んでいける術を身に付けてもらいたい。

